

令和2年2月10日

福島県農林水産部

## 県オリジナル水稲品種の名称について

このたび、昨年5月に県の奨励品種に採用した主食用米「福島40号」の名称を「福<sup>ふく</sup>、笑<sup>わら</sup>い」と決定しました。

### 【名称の決定経過】

#### 1 名称案募集

募集期間 令和元年9月2日（月）～10月6日（日）

応募総数 6, 234点

応募者数 2, 904名（県内1, 430名、県外1, 474名）

#### 2 名称決定の方法・経過

- 県クリエイティブディレクター箭内道彦氏をはじめとする外部有識者によるアドバイザーチームを編成し、応募いただいた名称案について、専門分野の視点での検証、アレンジなどの検討を行いました。

#### 3 名称発案者

- 「福<sup>ふく</sup>、笑<sup>わら</sup>い」の原案を応募いただいた方は10名（県内4名、県外6名）。
- 後日、抽選を行い、1名を最優秀賞、他9名を優秀賞とします。

#### ◇担当

農業振興課	課長	和田山	電話 024(521)7560	内線 3184
農産物流通課	課長	細川	電話 024(521)7388	内線 3240
水田畑作課	課長	松浦	電話 024(521)7358	内線 3200

## 新しい県オリジナル水稻品種

# ふく わら 「福、笑い」

令和2年2月10日

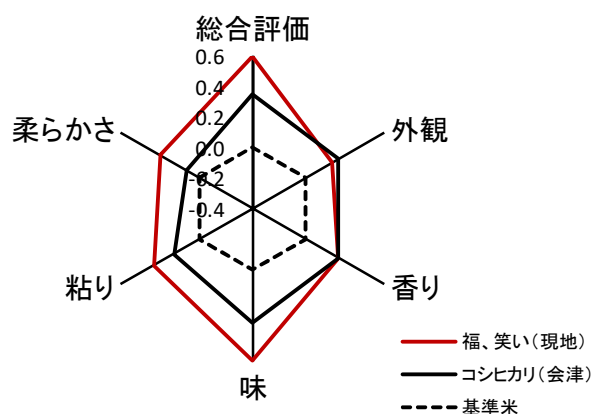
福島県農林水産部

### 1 品種の特徴

- 大粒で、強い甘みと香りを持ち、やわらかめに炊き上がる特徴を持つ品種です。食味は「コシヒカリ」並との評価を得ています。
- 草丈が短く、倒れにくく、いもち病にかかりにくいなど栽培しやすい品種です。収量は「コシヒカリ」並～やや優ります。



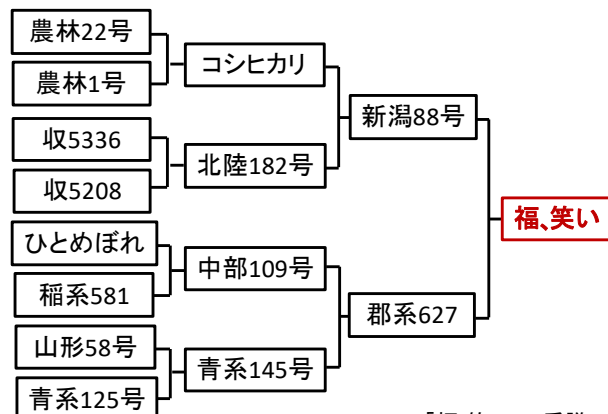
成熟期の様子



日本穀物検定協会による食味試験結果(H29)  
基準米: 複数産地コシヒカリブレンド米  
現地: 西会津町産、会津: 会津坂下町産

### 2 育成の経過

- 品質と食味が優れる品種の開発を目指し、平成18年(2006)に「コシヒカリ」の血を引く「新潟88号」を母、「ひとめぼれ」の血を引く県育成系統「郡系627」を父として交配し、品質及び食味の確認を繰り返してきました。
- 令和元年(2019)5月31日に開催した福島県奨励品種決定審査会において、奨励品種への採用が決定しました。



「福、笑い」の系譜

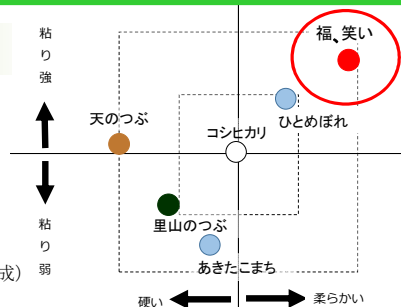
## I 「福、笑い」の評価結果

### 「福、笑い」の食味の特徴

【県農業総合センターの試験成績より】

- 食味
  - ・食味評価はコシヒカリ並の良食味
  - ・粒が大きく、柔らかい炊きあがり

右図：各品種の粘りと硬さのチャート図  
(食味官能評価のデータ等から福島県が作成)



### 流通関係企業や消費者への試食評価

【H30年度県委託事業での調査結果より】

高価格帯の米を扱う百貨店等や高級米を常に購入する消費者からの評価が高い

	流通関連ヒアリング評価※1	消費者の試食評価※2
傾向	・百貨店、高級スーパー、量販店等、消費者の近くに位置する事業者から高評価	・他県産コシヒカリ、あきたこまちと比べ、福島40号(福、笑い)を好む割合が多い
主な感想	・『甘み・香り』が強く、柔らかめの食感 ・他品種との差別化につながる個性のある米、主張する米	・『粘り・甘み』の印象が強く、特徴的な米との評価

※1 米卸事業者、首都圏の百貨店等17社への試食・ヒアリングを実施

※2 首都圏の400円/kg以上の高価格の米を常時購入している消費者約100名を対象に実施

## II ブランド化戦略の概要

### 調査結果からの「福、笑い」の食味等の特徴

- 強い甘みと独特の香りがあり、柔らかめの食感
- 炊く際に水分量調整が必要(ひと手間をかける)
- 個性を持つお米

良食味で、個性があり、  
希少性の高い米としてPR

### ブランド化及び流通・販売戦略

#### ブランド化戦略

- ◆ 福島県産米全体の「けん引役」と位置づけ
- ◆ ターゲットは手間を惜しまず、ひときわ美味しいお米を食べたい「こだわり層」
- ◆ 販売価格はプレミアム米相当の高価格帯

#### 流通・販売戦略

- ◆ 高級百貨店、高級スーパー及び高級飲食店等での消費者への販売・提供を主体とし、プレミアム米としての認知度を向上

## III 生産振興の基本的な考え方

### 基本的な考え方

- 1 本県のトップブランド品種として位置付け、品質・食味にこだわり、生産量を限定して販売
- 2 栽培基準を作成し、生産者の登録制等により、高品質・良食味で均質な米の生産を推進
- 3 新品種が県産米全体のイメージと価格をけん引

### 生産者登録制度の考え方

#### <登録の形態>

JAや集荷事業者が主宰する「研究会」などを新たに作り、各「研究会」などを県またはオリジナル米生産販売推進本部へ登録する

#### <想定している登録要件等の考え方>

- 新品種の栽培マニュアルに沿った栽培
- 第三者認証GAP等を取得していること
- 収穫した新品種は全量を出荷すること
- 食味・出荷基準に沿った、区分集荷・販売



## IV デビューに向けたスケジュール (想定)

2019 (元年度)	9月	名称公募
	10月	2020年度生産・販売方針、生産者登録制度の概要策定
	2月	名称公表
2020 (2年度)	3月	先行栽培者向け研修会
	4月	プレデビューに向けた先行栽培の開始 本格栽培に向けた生産者登録制の開始
	5月	ロゴデザイン決定
2021 (3年度)	11月	プレデビューイベントの実施
	4月	本格栽培開始
	秋	<b>本格デビュー</b> (デビューイベントの実施)

